
腐女子でいいじゃないか

莉斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

腐女子でいいじゃないか

【Nコード】

N0223V

【作者名】

莉斗

【あらすじ】

マキ達が通う桜田中学校には変わった部活がある。それは「腐女子部」。マキはその部の部長。部員は五人。自由な部活で学校では結構有名。

そんなマキ達のほのぼの(?)日常。

1話・真鍋先輩

私の名前は池田マキ。いたって普通の……腐女子だ。ちなみに中2。

私の通っている学校は、かなり変わった部活がある。

それは、『腐女子部』だ。まあ……ただ単に腐女子が集まっただけの部。

特にこれと言った活動はしていない。

部室に集まって、お菓子とか食べながら会話をする。

たまに趣味で絵を書いたり、

楽器を弾いてみたり、

外で、運動したり……と、かなり自由な部だ。

そして、私はその部の部長だ。何故、このような部活が出来たか。

……そのうち分かる。

とりあえず、部員紹介といこう。

まずは、羽葉リコ。ニックネームは『りっちゃん』。中1。小柄で可愛い後輩だ。

次に、雪野葵。ニックネームは『あお』。中2。元気で明るい奴だ。そして、天野空。ニックネームはないな。中2。ちょっと控えめだが優しい。

最後に、石野萌。中3。先輩だが敬語など堅苦しいのが嫌いで『同級生みたいに接してよ!』と本人は言っている。

この四人と私で全員だ。少ないが、まあ、楽しいので良しとしよう。それに皆可愛いからな。

今は部室へ向かっている。

ろうかを歩いているとたまに聞こえるヒソヒソ声。『腐女子部の部長だ!』とか『部室に向かっているのかな?』とか。聞きたくなくて

も聞こえる声。でも、それは決して悪口ではない。ただ、コソコソされるのは好きではない。

「マキ！」

いきなり名前を呼ばれた。…と同時に後ろから抱き着かれた。振り向かなくてもわかる。

「おお…」

「部室行くんでしょ？一緒にいこ！」

「あ、ああ…」

部室に入ると見慣れない女がいた。

「誰だ？」

私が聞くと女はニコニコしながら答えた。

「初めまして。私、美術部部长の、真鍋優まなへです。貴女、部長さんでしょ？話があるの」

真鍋優。確か、三年だ。女性らしい上品な人だ。

「話ですか？」

「ええ。…私、この部はいらな**い**と思うの。」

…この先輩、笑顔のまま変なこと言ったよな？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0223v/>

腐女子でいいじゃないか

2011年10月9日12時23分発行